

市民と議会との語る会実施報告書

日 時	令和8年4月24日（金） 午後7時 ～ 午後8時30分頃
会 場	南中山公民館
出席議員	佐々木哲夫、近藤光広、能勢淳一郎、砂田竜一、城戸茂夫
参加者（市民）	14名
司会（班長） 議会報告者 全体記録係	司 会 ：佐々木 哲夫 議員 議 会 報 告 ：砂田 竜一 議員 記 録 ：近藤 光広 議員
【1部】 定例会概要報告等 （報告者）砂田議員	<p>1 住宅支援制度について</p> <p>Q 中古住宅の取得やリフォームに対して補助があるが、若い人が中古住宅を取得するのか。</p> <p>A この制度は若い人に中古住宅にも目を向けてほしいという意味もある。周辺には利用されていない住宅が多数存在し、中には十分に活用可能なものも多い。新築志向は理解できるが、費用面も踏まえれば中古住宅をリフォームし、補助金を活用する方が長期的に有効な場合もあるため、積極的な利用を促したい。</p> <p>2 暮らし応援商品券について</p> <p>Q 郵送で届くならば、デジタルで取得する必要性があまりないように感じるが、その点についてはどうか。</p> <p>A こちらは国の方針で進めているものであり、デジタルで取得することにより郵送の費用を大きく抑えることができる。周りにも声掛けをお願いしたい。</p> <p>3 楽市周辺道路の整備について</p> <p>Q 楽市周辺の道路が混雑しており利用しづらい。キッズパークを楽市に整備する場合さらに混雑すると思うので、道路の整備についても検討してほしい。</p> <p>A 今回の施設整備については県の補助を受けて実施予定である。一方で、指摘のあった交通混雑については認識しており、地域の意見として受け止め、今後の対策について関係機関へ要望していく考えである。</p> <p>4 緊急銃猟実施体制について</p> <p>Q 緊急対応として記載されている対象動物にはシカやイノシシ等は含まれるのか。</p> <p>A 緊急対応の対象は人間に直接危害を加えるものとして、基本的に熊を</p>

想定している。人の生活圏に出現した場合に対応するものであり、実施の判断は市長に委ねられている。状況に応じて柔軟に対応する形となる。

5 しきぶ温泉湯楽里の再開について

Q 湯楽里の再開について、市民ニーズは把握しているのか。

A 正式な調査としてのニーズ把握は行っていない。ただし、議員個々には再開を望む声が多数寄せられている状況である。
一方で、受益者負担や修繕費用などの課題もあり、市民全体のニーズや財政面を踏まえ慎重に検討する必要がある。

6 空き家対策・活用について

Q 南中山にも空き家があり、中には崩れそうなところもある。他市町では空き家ツアーを行い、空き家の解消に取り組んでいるが、越前市はどうか。

A 空き家活用については、リノベーションによる宿泊施設化などの事例が市内でも出始めている。

市としては情報提供や相談対応を行っているが、近年は民間主導による空き家ツアーなども各地で始まっている。今後はこうした取り組みも含め、PR強化や移住等と連動した施策が必要であると認識している。補助金や空き家ツアーなど提案していきたい。

【2部】

意見交換会

(A班)

進行：能勢議員

記録：砂田議員

城戸議員

1 鳥獣害対策について

Q 猿対策として設置されている装置や仕組みはあるが、効果が限定的であり、他地域へ移動するだけで根本的な解決になっていない。長期的に有効な対策はないのか。

A 現状の対策は一定の効果はあるものの、猿が移動することにより被害の分散が生じている。根本的な解決策の確立は難しく、引き続き対策の検討が必要である。

(市に確認した内容)

GPSによる位置データは、行動の結果の分析にも活用できるが、基本的には朝一番の位置情報を確認し、追い払い等に活用していただくことが主な目的となっている。

サル対策は、集落で追い払いをしていただくことが基本となる。また、放任野菜、放任果樹の撤去等、餌場を作らない環境づくりも必要である。サル群れの行動範囲となる集落に対しては、電動ガンの補助支援、貸与を行っている。

Q イノシシ被害について、山側に柵を設置しても侵入が続いている。発

生源や侵入経路をどのように考えているのか。

A イノシシは山側からの侵入だけでなく、地域内を広く移動している可能性がある。特定の発生源の特定は難しく、広域的な対策が必要である。

2 防災体制・人材育成について

Q 防災リーダー研修が単発で行われているが、実践的な力が身につけにくい。段階的・継続的な研修制度にすべきではないか。

A 現在は年1回程度の研修が中心であるが、体系的に防災力を高めるためには継続的な研修の必要性が認識されている。今後の検討課題である。

Q 防災予算が少なく、十分な取り組みができていないのではないか。

A 防災分野の予算には制約があり、各種施策の実施には限界がある。今後は地域防災力向上の観点から、必要な取り組みについて検討する必要がある。

Q 避難訓練が地域全体で十分に実施されていない。実施の必要性についてどう考えるか。

A 近年は、住民主体で避難所を開設する仕組みに移行しており、自主的な訓練の重要性が高まっている。地域ごとの実情に応じた取り組みが求められる。

3 道路等維持管理について

Q 道路の修繕予算が減少しており、損傷箇所が十分に修繕されていない。改善してほしい。

A 現在は損傷の大きい箇所を優先した部分的な修繕にとどまっている。全体的な補修については財政面の制約があり、今後の課題である。

Q 歩道に植えられた樹木の根が隆起し、シニアカーが通行できず危険である。管理を強化すべきではないか。

A 樹木による歩道の損傷は課題として認識されており、安全確保の観点から適切な管理が必要である。

Q 街路樹が視界を遮り、車両通行にも支障がある。必要性を含め見直しできないか。

A 街路樹の管理や更新には費用や手間がかかるが、安全性確保の観点から対応の検討が必要である。

(B班)

進行：近藤議員

記録：佐々木議員

4 法面崩壊時の責任の所在について

Q イノシシによる土手の崩壊について、市ではなく土地所有者が修繕すべきとの説明が市からあったが、妥当なのか確認したい。

A 現場を見ていないので何とも言えないが、対応の考え方について改めて整理・確認する必要がある。

(市に確認した内容)

災害雨量による土砂災害(事業採択された場合)であれば、市が事業主体となり(地元負担あり)対応することができる。それ以外の場合には、原則所有者にて管理いただく。

1 地域への女性の参画について

Q 女性の意見が反映される場が少ない。議会や地域運営において女性の視点が不足しているのではないか。

A 女性の意見を活かせるまちづくりを進めていく必要がある。議会や地域活動における女性の参画を拡大することが重要である。

Q 家庭の事情などにより、夜間の会議に参加できない女性が多い点が課題であるのではないか。

A 時間帯の設定や参加方法の工夫など、女性が参加しやすい環境整備が必要である。

Q 役員や委員に女性が少ない。強制的な枠組み(クオータ制等)も含めて参画促進を検討すべきではないか。

A 女性の視点は重要であり、制度的な仕組みも含めて参画の機会を広げる必要がある。

Q 従来の女性団体等の活動が減少しており、活動内容も見えにくくなっているのではないか。

A 担い手不足などにより活動の縮小が見られるため、現状の把握と今後のあり方の検討が必要である。

2 施策のフィードバックについて

Q これまでの取組の成果やフィードバックが見えにくい。過去の実績を分かりやすく示してほしい。

A 議会が何をしているか分かりやすいように、議会だよりを変えたところである。これまでの取組や成果等についても情報提供していく。

3 緊急銃猟に関するハンターの確保について

Q 鳥獣害対策の担い手が不足している。どこで募集を行っているのか。

A 市広報等で募集している。資格を取って要件に合えばハンターになれるが、全体として人材不足である。担い手を確保していきたい。

4 デジタル商品券について

Q 紙の商品券はお釣りが出ないなどの不便がある。一方デジタル商品券は無駄なく使えるという利点をもっとPRすべきではないか。

A メリットについて周知していきたい。

5 地域でのサロン活動について

Q サロンでは女性が活発に活動しており、多くの意見が得られている。こうした場を活用すべきではないか。

A サロンにはたまに顔を出しており、忌憚ない意見をもらっている。男性もぜひ参加して行ってほしい。

Q 一方でシニアクラブは減少しており、活動の在り方を見直す必要があるのではないか。

A サロンとの関係も踏まえ、高齢者組織のあり方を検討する必要がある。

6 三里山トンネル構想について

Q 三里山トンネル構想の現状はどうなっているのか。議論が進んでいないように見えるが継続しているのか。

A 構想自体は継続しており、複数の案について整理・検討をしてほしいと議会として要望している。

7 鳥獣害対策について

Q 熊は対応されているが、猿については対策が不十分ではないか。農作物被害も大きい。

A 鳥獣害対策は人に危害を加えるものが最優先であり、続いて農作物に被害を加えるものの対応という優先順位の中で実施しており、猿への対応は十分とはいえない。自治体としてサルを集団捕獲するところも出てきているが、処理に問題が生じているという実態もある。

8 不法投棄対策について

Q 河川沿いにごみの不法投棄が見られる。防犯カメラ設置要望にも回答がない状況であるが、防犯カメラを何とか設置したい。

A 不法投棄対策として監視体制の強化が求められており、防犯カメラ設置等の対応検討が必要である。

9 議員定数について

Q 議員定数は減少するのか。

A 今回の市議選において変更はない。今後についてはまた検討していく。

令和8年4月24日

越前市議会 議長 様

第3班 班長 佐々木 哲夫